



WWFジャパン森林セミナー 世界の潮流からみる「サステナブル調達」のあり方

第2部 講演 「サステナブル調達」の考え方と進め方

2021年4月22日（木）
WWFジャパン 森林グループ
グループ長 相馬 真紀子

森林リスク・コモディティのサステナブル調達

「森林減少ゼロとは？」

Zero-Deforestation、No-Deforestation、Deforestation-free Supply Chain

- 森林リスクを抱えるコモディティを扱う企業がサステナブル調達を考える際に頻出
- サプライチェーンが「森林減少／森林破壊（Deforestation）」に加担しない
- 自社のサプライチェーンで、「森林減少ゼロ」を達成するとは具体的にどういうことで、そのために何をすれば良いのか明確なガイダンスが分かりづらい



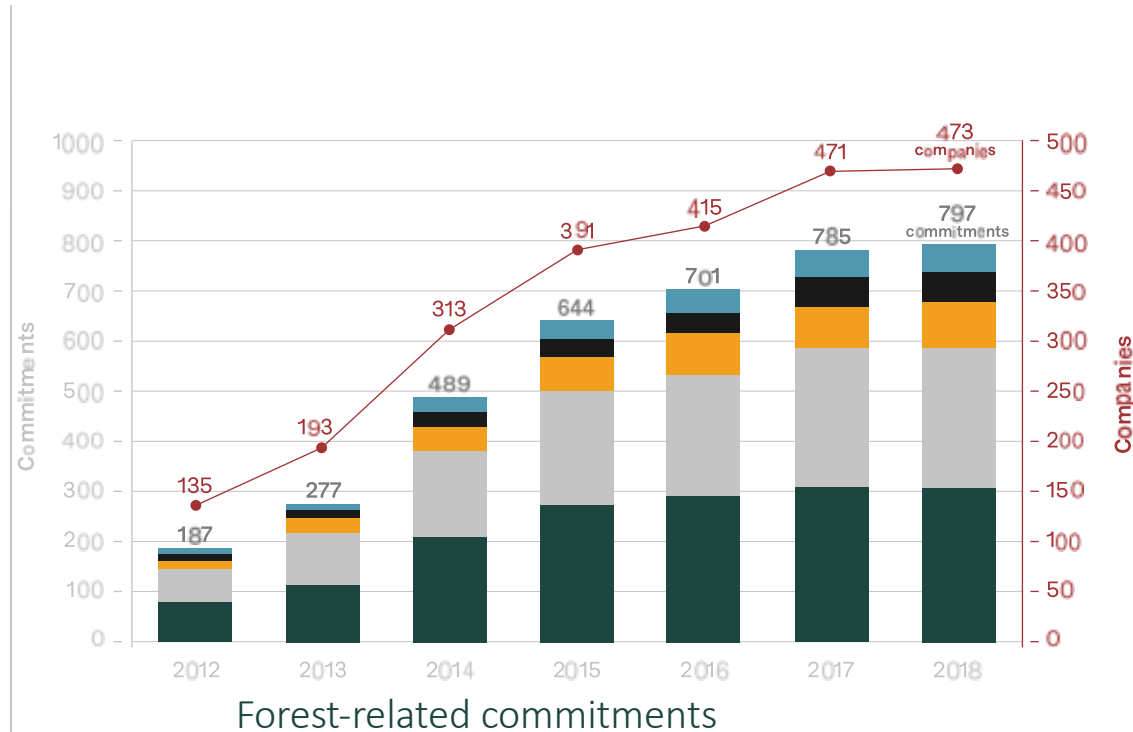
サステナブル調達の方針と進め方 発表の流れ

1. 企業の森林に関する方針の発表の状況
2. 森林減少ゼロとは：AFiによる共通言語化
3. 効果的な方針の策定・運用・報告
4. Recommendations

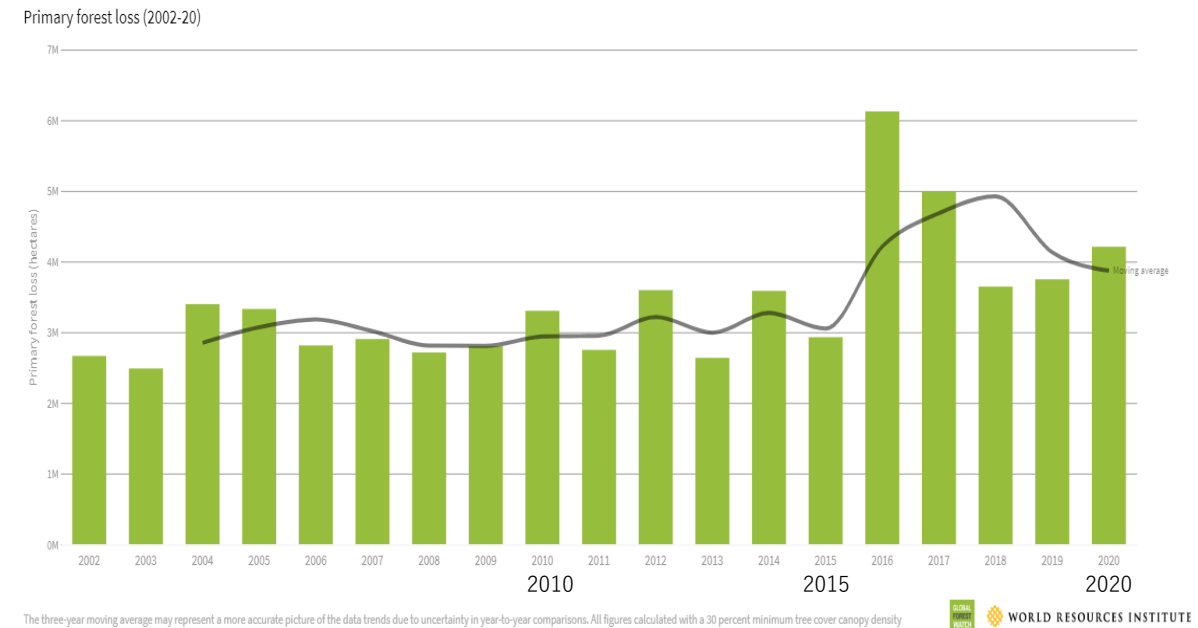
サステナブル調達の方針と進め方

企業の森林に関する方針の発表の状況と森林減少

2012～2018年までの7年間に発表された
森林に関する方針の数



2002～2020 年までの19年間の熱帯林減少面積





サステナブル調達の方針と進め方

企業の森林に関する方針の発表の状況と森林減少

大前提として、方針を出すことは森林減少に立ち向かう意思表示として重要
そのうえで、方針や宣言の総数だけではなく中身が重要

方針の課題

- 方針が対象とするコモディティの範囲が狭い
- 森林減少など用語の定義が曖昧 ⇒ 目標も曖昧に
- 目標に期限設定（目標年とカットオフ）がされていない

実施の課題

- 社内の経営層や別部署のコミット、サプライヤーなど取引先の理解が不十分

透明性の課題

- 方針を作って目標設定し、実際に運用、評価して報告・開示するという仕組みの欠如
- 方針を持つ企業のうち34%が過去2年間で進捗報告を行っていない

(https://forest500.org/sites/default/files/forest500_2021report.pdf)

サステナブル調達の方考え方と進め方

森林減少ゼロとは：AFiによる共通言語化

Accountability Framework Initiative (AFi)

- 地球規模で森林や重要な生態系、人権を守るために、コモディティを超えて共通のゴール、共通の言語、共通の手順を作ろうというイニシアティブ
- エシカル・サプライチェーンをニューノーマルにするための国際NGOを中心とした協働



Accountability Framework

Delivering on ethical supply chain commitments

A collaborative effort to make ethical supply chains the “new normal”



Independent experts
Gita Syahrani – Indonesia
Silas Siakor – Liberia

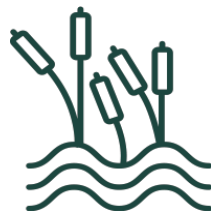
サステナブル調達の方考え方と進め方

森林減少ゼロとは：AFiによる共通言語化

自然生態系を守る



森林減少を止める



自然生態系を守る



人権を尊重する

コモディティ

木材

紙パルプ

パーム油

天然ゴム

牛肉

大豆

カカオ

その他

地理的スコープ



東南アジア、南米、アフリカ（西/中央）をはじめとする森林リスクコモディティ産地

サステナブル調達の方針と進め方

森林減少ゼロとは：AFiによる共通言語化

- ・ AFiの要素：12の基本原則、運用ガイダンス、用語集
- ・ AFiはより明確で、一貫性があり、効果的で透明性のある方針の策定と実施、モニタリングを可能にすることを旨とする
- ・ 方針策定、実施、進捗モニタリングから報告・発信にいたるまでのプロセスについてロードマップを示す

◆AFi 基本原則リンク

<https://accountability-framework.org/the-framework/contents/core-principles/>

◆AFi 運用ガイダンスリンク

<https://accountability-framework.org/the-framework/contents/operational-guidance/>

◆AFi 用語集リンク

<https://accountability-framework.org/the-framework/contents/definitions/>



方針策定・強化

AFi 12の基本原則

1. 森林と自然生態系の保全
2. 人権の尊重
3. 方針の仕様

方針の実施

4. 社内のシステム
5. トレーサビリティ
6. サプライチェーン管理
7. 土地利用計画
8. 土地管理
9. 森林再生
10. セクター、ランドスケープ
11. モニタリング検証

透明性の確保

12. 進捗報告・開示

Core Principles

基本原則

運用ガイダンスの一部

カットオフ

FPIC

IP/LCの権利

小規模農家

サプライチェーン管理

モニタリング検証

報告・開示

Operational Guidance on
Smallholder Inclusion in
Ethical Supply Chains

運用ガイダンス



サステナブル調達の方考え方と進め方

森林減少ゼロとは：AFiによる共通言語化

AFi は既存の認証やプラットフォームやガイドラインなどの多くと整合・補完し合う

国際認証

- RSPO, FSC 等

セクター・プラットフォーム

- Global Platform on Sustainable Natural Rubber (天然ゴム)

ガイドライン・方法論

- Free Prior Informed Consent (FPIC) ガイドライン
- High Carbon Stock Approach (HCSA) & High Conservation Value (HCV)

評価・アセスメント

- CDP Forests
- Global Forest Watch

国際イニシアティブ

- Consumer Goods Forum D-free initiatives
- NY森林宣言
- 国連ビジネスと人権に関する指導原則



サステナブル調達の方針と進め方

森林減少ゼロとは：AFiによる共通言語化



CDP Forests 2020 Questionnaire

CDP とアカウンタビリティフレームワーク・イニシアチブ(AFi)

CDP は、企業が責任ある農業および林業サプライチェーンに関する誓約を策定するフレームワークは、共通の定義、規範に加え、企業が倫理的サプライチェーンを規定するように設計された一連の原則とガイドラインを示します。

CDP に開示する企業がイニシアチブで示された基本原則に関しても報告でき業してきました。CDP フォレスト質問書の質問と AFi 基本原則との関連性は「連性」にて)。アカウンタビリティフレームワークの範囲内の主題の報告のため AFi のウェブサイトで見ることができます。

個々の質問のガイダンスで CDP フォレスト質問書の質問と AFi 基本原則との関連性が示されている

(CDP フォレスト質問書 2020)

McDonald's の「森林減少」の定義は AFi と整合

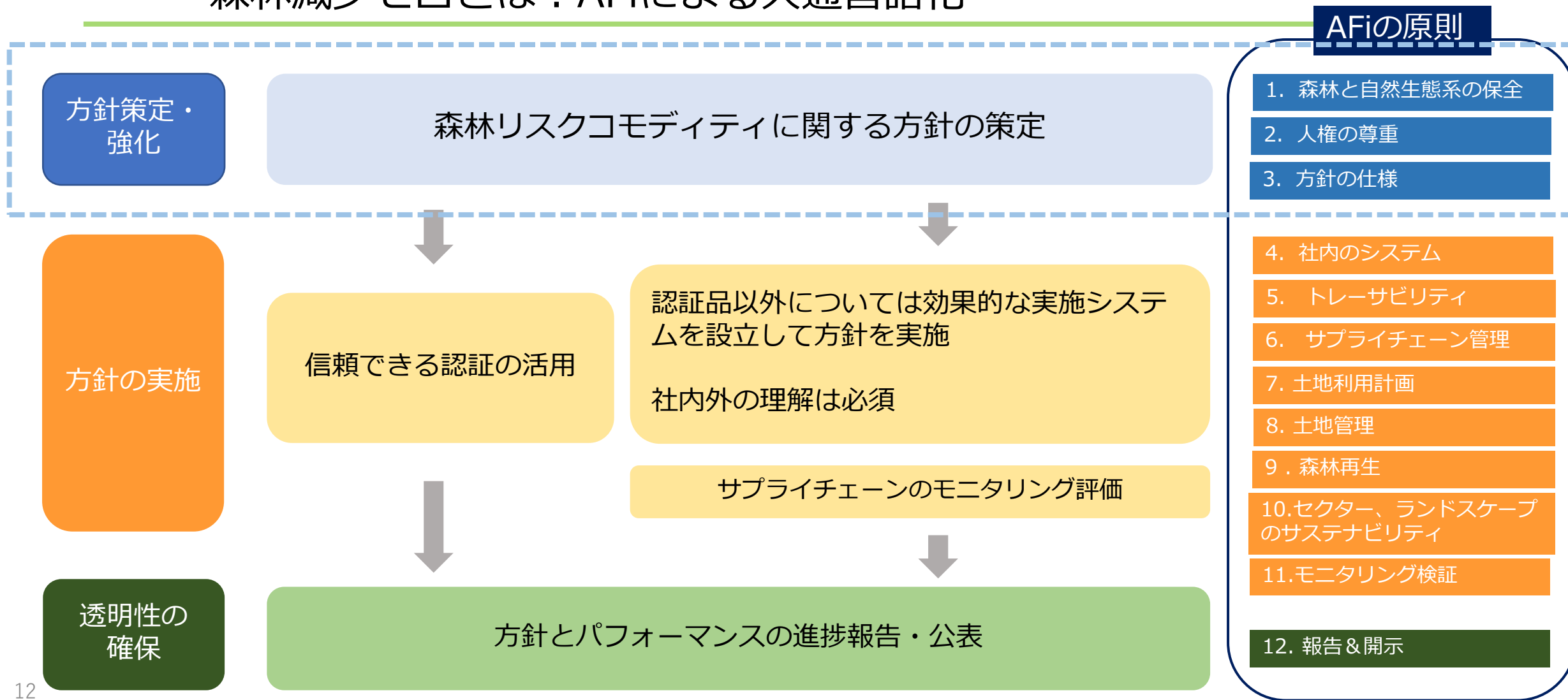
- **“Eliminate Deforestation”** refers to McDonald’s global pledge to tackle deforestation, and all of the social and environmental criteria in our Commitment on Forests in our agricultural and forestry supply chains. In alignment with the definitions of AFi, we use the term “supporting deforestation-free supply chains” below to more accurately reflect the actions we are taking to implement, measure and report progress toward our Commitment on Forests.
- **“Deforestation”** refers to the loss of natural forest as a result of: i) conversion to agriculture or other non-forest land use; ii) conversion to a plantation forest; or iii) severe and sustained degradation as aligned with the definitions of AFi.

(出所：McDonald’s ホームページ “Conserving Forests”

URL: <https://corporate.mcdonalds.com/corpmcd/our-purpose-and-impact/our-planet/conserving-forests.html#:~:text=McDonald's%20has%20been%20on%20a,global%20supply%20chains%20by%202030.>)

サステナブル調達の方針と進め方

森林減少ゼロとは：AFiによる共通言語化



サステナブル調達の方針と進め方

効果的な方針の策定・運用・報告：方針の策定・強化

1. 森林と自然生態系の保全
2. 人権の尊重
3. 方針の仕様

原則1. 森林と自然生態系の保全※

森林リスク コモディティに関する方針は：

- ・ 森林減少を引き起こす行為をサプライチェーンから排除することにコミット
- ・ 企業の生産、調達、および金融投資が自然林の減少や劣化を引き起こしたり、その原因になることを禁止

※森林減少（Deforestation）とは、

- ① 自然林の農業または森林以外の土地利用への転換
- ② 自然林の植林地への転換
- ③ 深刻かつ継続的な劣化による自然林の消失

**※森林減少を食い止めるために
コミットする意思を社会に対して
表明してください、ということ**

※森林以外の保全すべき自然生態系：泥炭地、サバンナ、草地、湿地など

サステナブル調達の方針と進め方

効果的な方針の策定・運用・報告：方針の策定・強化

1. 森林と自然生態系の保全
2. 人権の尊重
3. 方針の仕様

原則2. 人権の尊重

森林リスク コモディティに関する方針は：

あらゆる種類の人権を尊重すべきだが、森林リスク・コモディティを扱う企業にとっては特に、以下の2つの権利を方針に含めることが重要。生産、調達、および金融投資のすべてにおいて

- **労働者**の権利を尊重
- 先住民 (**I**ndigenous **P**eoples) と地域コミュニティ (**L**ocal **C**ommunity)の権利を尊重

**※労働者とIP/LCの権利を確認
国際的に信頼される枠組みへの整合も重要**



- 人権に関する国際宣言 & ILOの最優先条約
- 労働者の人権リスクに関するDD
- 労働組織、労働組合、労働者の擁護者等と定期的かつ直接的にコミュニケーション etc.



- 先住民族の権利に関する国際連合宣言 (UNDRIP)との整合
- IP/LCに対しては Free, Prior and Informed Consent (FPIC) を得る
- IP/LCの権利が脅かされた場合の補償 etc.



サステナブル調達の方針と進め方

効果的な方針の策定・運用・報告：方針の策定・強化

1. 森林と自然生態系の保全
2. 人権の尊重
3. 方針の仕様

原則3. 方針の仕様

森林リスク コモディティに関する方針は：

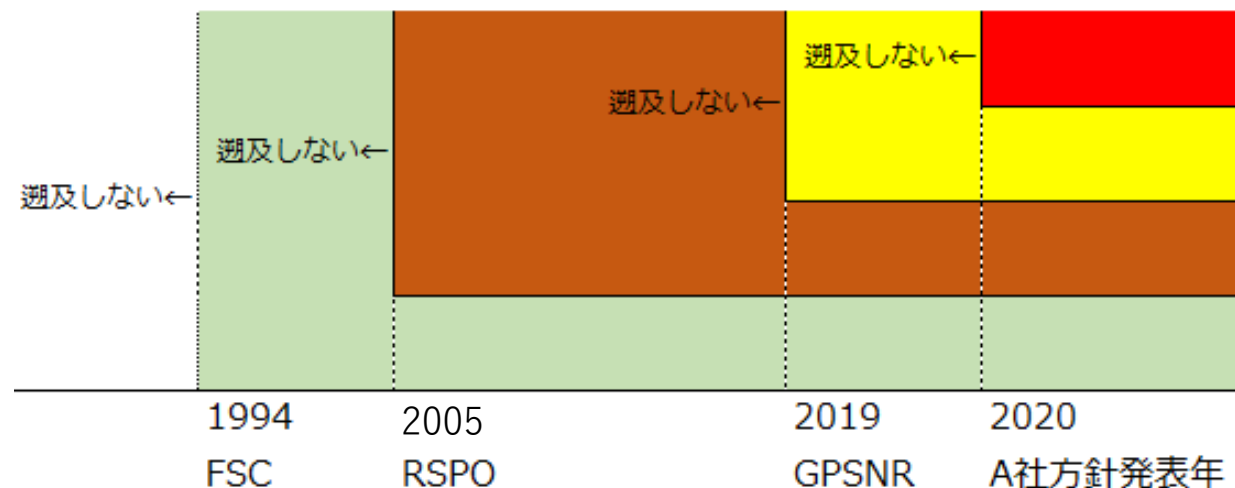
- 本業で関わるコモディティを網羅（スコープ）
- セクターあるいは国際的に通用する用語と定義を使用（定義）
- 期限設定された目標とカットオフ時期を設定（目標と期限の設定）※
- 既存の法律を遵守（法令順守）

※スコープ、定義、目標・期限、法令順守

※カットオフ

- セクター共通の時期があれば活用が推奨される（例）
 - ✓ FSC：1994
 - ✓ RSPO：2005
 - ✓ GPSNR：2019

- 15 • 方針策定よりも前の日付を設定することも可能





サステナブル調達の方針と進め方

効果的な方針の策定・運用・報告：方針の実施

AFiの原則

目標設定・
強化

森林リスクコモディティに関する方針の策定

1. 森林と自然生態系の保全
2. 人権の尊重
3. 方針の仕様

方針の実施

信頼できる認証※を使い特定の製品の一定量について方針を満たすことを確認

※FSC、RSPOなど

認証品以外については効果的な実施システムを設立して確認。社内外の理解は必須

トレーサビリティ&サプライチェーン・モニタリング

- ・ 上流企業は原産地の情報を確認※
- ・ 下流企業はサプライヤーへのアンケートや説明を通して上流の情報提供を依頼してトレース

※確認ツール：HCV, HCSA (+FPIC)

4. 社内のシステム
5. トレーサビリティ
6. サプライチェーン管理
7. 土地利用計画
8. 土地管理
9. 森林再生
10. セクター、ランドスケープのサステナビリティ
11. モニタリング検証

透明性の
確保

方針とパフォーマンスの進捗報告・公表

12. 報告&開示



サステナブル調達の考え方と進め方

効果的な方針の策定・運用・報告：方針の実施（HCV）

確認ツール：
HCV、HSC、FPIC

High Conservation Value

高い保護価値（HCV）

- 社会的、文化的、環境的に重要な場所を特定し、その生態的、社会的価値を維持し、森林資源利用の持続可能性を保证するためのツール。
- 国や地域の法律で保護されているか否かにかかわらず。
- 右の項目のいずれかひとつにでもあてはまればHCV

※FSC、RSPOは認証の中でHCVを確認、GPSNRでも要求に含まれる

カテゴリー
1

種の多様性

- 保護区
- 絶滅危惧種
- 地域固有種
- 一時的な利用に重要なもの（渡り鳥の経路地、繁殖、冬眠等）

カテゴリー
2

景観レベルでの生態系とモザイク

広大な手つかずの場所や、その保全に必要な機能を持つ場所（バッファ・ゾーンやコリドー等）

カテゴリー
3

生態系及び生息域

希少または地球上から失われる恐れがある生態系

カテゴリー
4

不可欠な生態系サービス

- 危機的な状況において基本的な自然の機能を果たす
- 集水のために重要
- 土壌流出防止のために重要
- 火災に対して防壁となる

カテゴリー
5

地域社会のニーズ

地域社会の基本的ニーズ（水、食料、生計手段）を満たすのに欠かせない地域

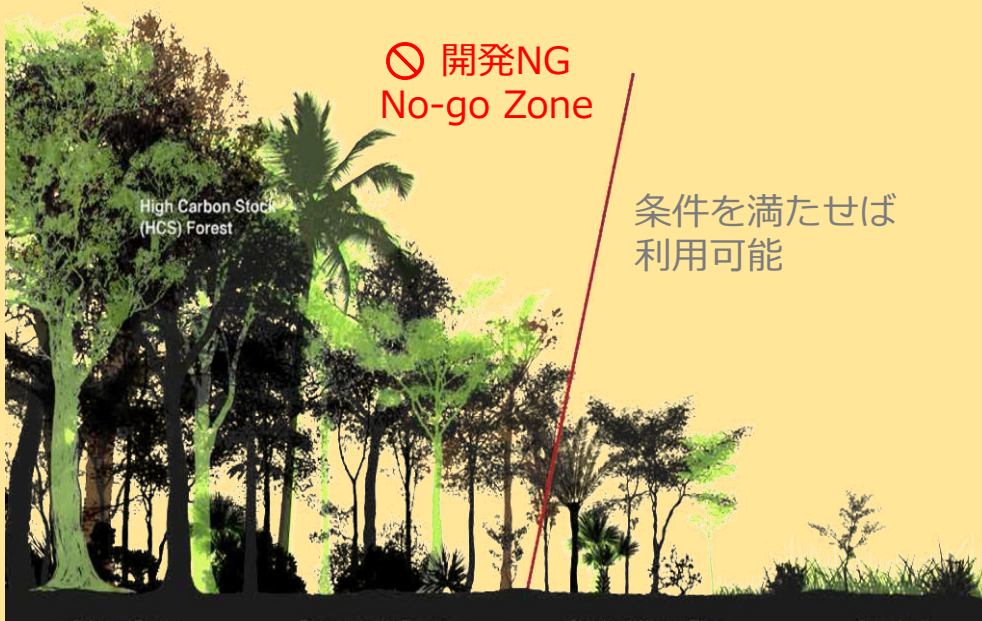
カテゴリー
6

文化的価値

歴史的、文化的に重要な場所



HCSA : High Carbon Stock Approach



- 地上の炭素貯留や生物多様性の価値により土地を区分
- 「**開発を避けるべき土地**」 vs. 「**利用可能な土地**」を特定し、プランテーションの適切な管理を行うための手順を示す

開発を避けるべき土地
保全すべき土地（HCV等）

開発を避けるべき土地
再生すべき土地

開発を避けるべき土地
コミュニティが利用する土地

プランテーションとして
利用可能な土地

※コモディティ毎の特徴はあるが、森林減少ゼロを実現するには
HCSA、HCV（+FPIC）両方の確認が必要

（ただし、天然林択伐など、必ずしもHCSAの対象とならない場合もある）

HCVとの違い：HCVは保護価値の高い場所を特定して避けることが目的で、開発可能な土地を特定することを目的としない

サステナブル調達の考え方と進め方

効果的な方針の策定・運用・報告：方針の実施（FPIC）

現場でIP/LCの存在を確認し、FPICを実施する

FPIC：自由（Free）で事前（Prior）の十分な情報に基づいた（Informed）同意（Consent）

IP/LC：先住民＝Indigenous Peoples（IP）＋ 地域コミュニティ＝Local Community（LC）

- 先住民および地域社会（**IP/LC**）の権利、土地、資源、領土、生計、および食料確保に影響を与える可能性のある活動を行う前に**FPIC**を得る
- FPICは、HCV/HCSAどちらの確認においても、また、FSCやRSPOなどの認証においても、プロセスとして取り入れられている

※確認方法の例：

FSC国別リスク評価レポート（FSC National Risk Assessment Report）の記載
人権NGOに直接確認





サステナブル調達の方針と進め方

効果的な方針の策定・運用・報告：透明性の確保

目標設定・
強化

森林リスクコモディティに関する方針の策定

方針の実施

信頼できる認証を使って
特定の製品の一定量について
方針を満たす

FSC、RSPOなど

認証品以外については効果的な方針、
実施システムを設立して方針の実施

ツール：HCV、HSC、FPICなど

モニタリング評価

透明性の
確保

方針とパフォーマンスの進捗報告・開示

AFiの原則

1. 森林と自然生態系の保全
2. 人権の尊重
3. 方針の仕様
4. 社内のシステム
5. トレーサビリティ
6. サプライチェーン管理
7. 土地利用計画
8. 土地管理
9. 森林再生
10. セクター、ランドスケープのサステナビリティ
11. モニタリング検証
12. 報告 & 開示

サステナブル調達の考え方と進め方

効果的な方針の策定・運用・報告：透明性の確保



透明性の確保

- 方針策定・目標設定 ⇒ 運用 ⇒ 評価 ⇒ 報告 ⇒ 開示 & 発信
- ESG投資：投資家へのディスクロージャーでは、
書いていない≠やっていない

報告の内容

- 企業の環境社会リスク
- 方針実施のための活動
- トレーサビリティの確立・改善度合い
- 方針で設定した目標のアウトカム etc.

森林リスク・コモ
ディティの方針を
持つ企業の

34%は過去
2年間進捗報告を
行っていない

Recommendations

- 1. セクター共通の目標や国際的に合意された方向性を踏まえた方針設定を**
 - ✓ 今できているか、ではなく、どこを目指すのか
- 2. 方針実施のための社内システム整備&サプライチェーン管理**
 - ✓ 経営層・他部署の巻き込み
 - ✓ サプライヤーや取引先の理解
 - ✓ 森林減少ゼロを確認する認証やプラットフォーム、ツールの活用：FSC、RSPO、GPSNR、HCV、HCSA、（+FPIC）
- 3. 目標設定 ⇒ 運用 ⇒ 評価 ⇒ 報告 ⇒ 開示・発信により透明性を確保**
- 4. 最初から完璧を求める必要はない**
 - ✓ 結果 < プロセス、ととらえ、できることから Step by step で



サステナブル調達の方え方と進め方

参考情報・URL

◆AFi 基本原則リンク

<https://accountability-framework.org/the-framework/contents/core-principles/>

◆AFi 運用ガイダンスリンク

<https://accountability-framework.org/the-framework/contents/operational-guidance/>

◆AFi 運用ガイダンスリンク（小規模農家のインクルージョン）

<https://accountability-framework.org/operational-guidance/smallholder-inclusion-in-ethical-supply-chains/>

◆AFi 用語集リンク

<https://accountability-framework.org/the-framework/contents/definitions/>

◆HCV

<https://hcvnetwork.org/>

◆HCSA

<http://highcarbonstock.org/>

◆FSC ナショナルリスクアセスメント

<https://fsc.org/en/newsfeed/new-fsc-risk-assessments-available-0>

◆GPSNR

<https://sustainablenaturalrubber.org/>

Thank you very much!